

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 559 事業名 下水道管理事業（雨水）

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	1	総合防災対策の充実
施策	1	災害に強いまちづくりの推進
取組	3	土砂災害・水害の予防対策の推進

事業種別	主な事務事業	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	下水道管理課	木村 芳裕(435-1096)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	下水道		
	款	下水道事業費		
	項	下水道管理費		
	目	下水道管理費		
	大事業	下水道管理事業		
	事項	下水道管理事業（雨水）		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
○			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	公共下水道区域内の雨水対策事業	公共下水道区域内の下水道管等の維持管理、ポンプ施設の運転管理等を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		雨水ポンプ場維持管理 下水道管理事業（汚水）の予算額との合算に按分（75%）で算出	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理	雨水ポンプ場維持管理

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
事業費	220,863	249,006	266,854	271,757	333,553	341,461	384,700	393,288	369,868		
伸び率 (%)	-	-	20.8%		25.0%		15.3%		-3.9%		
人件費	常勤職員	16,016	16,551	16,551	17,027	14,300	14,300	13,867	13,867		
	非常勤職員										
	小計	16,016	16,551	16,551	17,027	14,300	14,300	13,867	13,867		
千円	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源（税等）	220,863	249,006	266,854	271,757	333,553	341,461	384,700	393,288	369,868	
所要人数	常勤職員	2.09	2.16	2.16	2.25	1.89	1.89	1.89	1.87	1.87	
	非常勤職員										
主な予算内訳											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値					
成果指標	雨水ポンプ場管理箇所				9	9	10	10	10
	件			実績値	9	9	10	10	
成果指標	雨水ポンプ場修繕箇所				15	17	20	20	20
	件			実績値	14	19	33	25	
	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	111.8%	165.0%	125.0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	当事業は、雨水ポンプ場運転管理事業と同様に防災対策として不可欠である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「 <u>現状維持</u> 」以外の場合は記載	事業の充実を図るためには、コストの拡大は避けられない。